

## 第2回沼田町これから塾

5月19日(月)には町内外から約80名が参加し「地域医療と福祉の連携」をテーマとして、JA長野厚生連佐久総合病院の北澤彰浩先生を講師に招き、佐久総合病院が行ってきた出張診療の先駆的な取り組みや、住民参加のネットワークづくりなどについてレクチャーを受けました。

その後のディスカッションでは沼田町での現状、参加者が感じている医療体制、どうすれば自分らしい暮らしができるか、死とどうやって向き合うかなど、北澤先生を中心に活発な意見交換が行われました。



▲参加者と意見交換を行う studio-L の山崎代表(上)と北澤先生(下)

▲それぞれの立場から意見や質問を行う参加者



▲北澤先生を囲んでの意見交換会

## 沼田町が地域活性化モデルケースに選定されました!!

政府が地域の力で日本の元気を取り戻し、アベノミクスの成果を全国津々浦々まで届けるモデルケースとして、沼田町が進めている農村型コンパクトエコタウン構想の取り組みが、全国135地域の中から選ばれた33地域の一つとして、5月29日に沼田町が選定されました。

町民の皆さんと進めている現在の構想を更により良いものにするため、今後は政府一体となった関係府省の施策等により支援や助言等をもらいながら進めていきます。

自分なりの健康で幸せな生活を実現するために

沼田町「これから塾」に全4回開催参加する人を募集します。

沼田町の医療と福祉、起業、コミュニティなどについて学び、話し合うための「これから塾」を開催します。

「これから塾」は、全4回開催します。毎回のテーマは「まちのこれからをみんなで考える」がテーマです。「町民みんなで話し合い、計画をつくり、住み続けられるまちを実現する」という意見が多く見られたこと、若者や女性を中心に「医療や福祉、健康について勉強し、話し合うところから始めたい」という意見をもとに開催することとなりました。

# これから塾

## 第3回沼田町これから塾

6月23日(月)健康福祉総合センター「すこやかホール」で第3回目の「これから塾」が「人を集め交流を生む、福祉・店舗・住居のまちづくり」をテーマに、社会福祉法人佛子園(石川県白山市)の雄谷良成理事長を講師に招いて開催されます。

初めての参加者も大歓迎です、申込については役場政策推進室(電話35-2155)までご連絡ください。

なお、これまでの経過や、今後の開催につきましてはこれから通信や町のHPで更新していきますので、ご覧ください。

## これから塾とは?

町では、有志の町民の方を対象に、町の医療と福祉・起業・コミュニティなどについて学び、話し合うための勉強会の場として「これから塾」を開催しています。「これから塾」は、ヒアリング調査や町民説明会等から「自分たちが生活する地域を健康で豊かなものにしたい」「ずっと住み続けられる町にしたい」という意見や、若者や女性を中心に「医療や福祉、健康について勉強し、話し合うことから始めたい」という意見が多くみられたことから開塾することになりました。

「これから塾」は、全4回開催します。塾のテーマは「まちのこれからをみんなで考える」サブテーマは、「町民みんなで勉強し、話し合い、計画をつくり、住み続けられるまちを実現する」としています。「これから塾」は、前半の講義と後半の町民との話し合いをセットで行います。講師の先生には「健康づくりと運動・食事」「地域医療と福祉の連携」「人を集め交流を生む、福祉・店舗・住居のまちづくり」「地域の課題をみんなで解決するために」という4つのテーマで講義をして頂きます。

自分なりの健康で幸せな生活を実現するために、勉強したり、考えたり、行動を起こしたい皆さんのご参加をお待ちしています。

## 第1回沼田町これから塾

4月21日(月)に1回目となるこれから塾が「健康づくりと運動・食事」をテーマとして、旭川医科大学の住友和弘先生を講師に招き、中頓別町で実施された森林ウォーキングや実施方法などについてレクチャーを受けました。その後参加者はグループに分かれディスカッションを行い、住友先生と一緒に疑問や町の現状について話し合いを行いました。

また、金平町長からは「自分の将来、子供、孫のために命を吹き込んだ施設の検討をお願いしたい」と挨拶がありました。



▲活発な意見交換が行われました

▲参加者からの質問に答える住友先生

沼田町「これから塾」第3号

これから通信

1 はじめに

2 第1回「これから塾」開催概要

3 旭川医科大学 住友先生の講義「健康づくりと運動・食事」

▲第1回の詳細はこれから通信第3号をご覧ください



▲森林ウォーキング等について説明する住友先生